

八嶋 博人 *Violin* × *Viola* 八嶋美和子

Duo Recital

2015年

10月21日(水)

13時15分開場 / 14時開演

瀬上 嶋貫本家 (国登録有形文化財)

福島市瀬上町字本町90-2

入場料：全席自由 3,000円

※未就学児の入場はできません

チケット予約

デュオ・リサイタル実行委員会

TEL: 024-542-9027

曲 目



モーツァルト / ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲 ト長調 KV423
ベートーヴェン / ピアノソナタ 第14番「月光」第3楽章 (ヴァイオリン×ヴィオラ)
J. S. バッハ / 無伴奏チェロ組曲 第3番 ハ長調 BWV1009 (ヴィオラ)
イザイ / 無伴奏ヴァイオリンソナタ 第3番 バラード
ヴィヴァルディ / ソナタ 第12番 イ短調 作品2
エルンスト・パガニーニ / ヴェニスへの謝肉祭

■ 八嶋博人Facebookページ

<https://www.facebook.com/HirotoYashimaOfficial>

お問い合わせ 024-542-9027 (片平)

Hiroto Yashima

PROFILE

八嶋 博人 ~ヴァイオリン~

仙台市に生まれ、4歳より現岡幹博氏に、後、海野義雄氏に師事。宮城フィルハーモニー管弦楽団（現在の仙台フィル）のコンサートマスターを勤めた後83年に渡欧し、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学に入学。シャンドール・ヴェーグ教授のマスタークラスにおいて学ぶと同時に、カメラータ・アカデミカ・ザルツブルクのメンバーに抜擢される。同大学を卒業後、ソロクラスに進み、87年にソロディプロマを取得した。同年からハノーファー北ドイツ放送フィルの第1ヴァイオリニスト。ソリストとして世界各地で活動。「アジア少年少女愛と夢のコンサート」のゲストアーティストとして、スリランカ、中国、モンゴルで演奏、08年、四川被害地青少年育成基金設立記念コンサートに招かれ、再び中国で演奏した。また、東日本大震災復興支援のため、ドイツ国内各地におけるチャリティーコンサートに出演、浮ヶ谷孝夫氏指揮、ブランデンブルク国立管弦楽団のソリストとして演奏した。夏休みに開催される豊橋オーケストラキャンプにおいて、後進の指導にも当たっている。今シーズンは、ドイツ国内におけるリサイタルのほかに、MM会から招かれて、三菱商事本社会議室において講演（演題「ヴァイオリン道を追い求めて、音楽とサッカーの国、ドイツで学ぶこと」）。更に、東京都の歴史的建造物保存のためのチャリティーリサイタルなどに出演、また、キエフにおけるリサイタル、ハノーファー北ドイツ放送音楽祭にソリストとして出演し、いずれも好評を博した。

◆八嶋博人Facebookページ
<https://www.facebook.com/HirotoYashimaOfficial>

八嶋美和子 ~ヴィオラ~

福島市出身。4歳からヴァイオリンを始め、中学時代から兎東龍夫氏に、後、海野義雄氏に師事。77年に渡欧し、ミュンヘン国立音楽大学において、ゲアハルト・ヘッツェル教授に師事。80年、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学における、巨匠シャンドール・ヴェーグ教授のマスタークラスに入学。また、ニコラウス・ハルノンクール教授のマスタークラスにおいて、バロック音楽と古典音楽の奏法および解釈を学ぶ。85年に卒業した後、ヴェルテンベルク室内合奏団のメンバーとして、ヨーロッパ各国を演奏旅行。現在はソロと室内楽の演奏活動のかたわら、後進の指導にも当たっており、更に、自由奔放な独自の作風で描く油絵は、高い評価を得、注目を集めている。また、絵画の展覧会と音楽のコラボレーションや、今年6月から始めた、「絵と音楽で遊ぼう」シリーズは、既存の幼児教育システムより更に早期の幼児才能啓発メトードとして、開始早々好評を博し、希望者が急増している。ヴィオラにも意欲的に取り組み、2012年は、北ドイツ放送主催の室内楽シリーズにヴィオラ奏者として出演した。



Hiwako Yashima

瀬上 嶋貫本家（国登録有形文化財） 福島市瀬上町字本町90-2
access

福島駅東口（東口2番ポール）より 福島交通バス
◆伊達・上ヶ戸経由掛田駅前 行き ◆伊達経由保原 行き
◆伊達経由北福島医療センター 行き ◆伊達経由湯野 行き
◆小坂 行き ◆桑折 行き ◆藤田 行き
バス約20分乗車後、バス停「瀬上本町」下車、徒歩1分

お問い合わせ 024-542-9027 (片平)

【チケット予約】

デュオ・リサイタル実行委員会

TEL:
024-542-9027